

第6回審議会（ペットボトル）での主なご意見・ご質問

1 審議会でのご意見・ご質問

項目	ご質問
リサイクルセンターの建て替え等	<p>○リサイクルセンターの建て替えでペットボトルは来年度から焼却処理となる。また、2050年ゼロカーボンに向け、2030年にはハーフカーボンにしないと間に合わないという話もあり、前倒して取り組む必要がある。</p> <p>○リサイクルセンターの建て替え時に遠方に運びリサイクルするとしてもエネルギーを消費する。焼却してエネルギーを回収するのとどちらが環境負荷が少ないかも考慮すべき。</p>
環境配慮型の消費行動の促進について	<p>○自販機のペットボトルも値上がりして買いづらくなっている時でもあり、市としてもペットボトル削減のPRに力を入れてほしい。</p> <p>○ペットボトルも含めプラスチック類を減らすのは難しいが、海洋ごみになることは防がなければならない。小学校区の地区協議会単位で定期的に（2か月～半年に1回など）プラスチックごみ拾いの日を設け、環境教育の場とするのはどうか。</p> <p>○ペットボトルをゼロにするのは難しいが、日に3本も4本も消費する人が1本減らすように促していくのが当面の課題ではないか。例えば1日1本減らすことを訴えるペットボトルホルダーを市がイベントで配布するなどして啓発するのはどうか。</p> <p>○調布駅には恵まれたスペースがあるので、そこでプラスチック撲滅キャンペーンのようなイベントを大々的に行うのはどうか。エコフェスタのようなイベントでプラスチックに特化することも必要ではないか。</p> <p>○ペットボトルはリサイクルされているので環境に負荷をかけてないと感じて使っている人が多いのではないか。ペットボトルが環境に負荷をかけていることを、イベントやグッズなどを通じて伝えていくことが、まず第一歩だと思う。</p> <p>○ここまでペットボトルの消費量が増加してしまった原因をもっと掘り下げ、これまでとは違う取組を検討すべきである。</p>

項目	ご質問
ペットボトル収集の有料化について	<p>○役所や企業で率先してペットボトルを使わずマイボトルとすることを PR しつつ、究極的にはペットボトル収集の有料化で減らすしかないと考える。</p> <p>○マイカップ・マイボトルの利用促進ではあまり効果が期待できず、有料化くらいしか効果が見込めないのでは。</p> <p>○有料化には賛成だが、市民の理解を得るためには、リサイクルセンターの建て替えで焼却せざるを得なくなることを、危機感を持ってもらうよう市民に PR すべき。</p> <p>また、収集頻度を減らすことも良いと考える。</p>
環境教育について	<p>○時間はかかるが、子ども達への教育を通してペットボトル減量の必要性を自覚するよう、促すことが大事。</p> <p>○子ども達への働きかけから、家族全員が意識していくことが大事である。例えばびんのドレッシングを選ぶ、お茶は紙パックにするなど、具体的な取組例を伝えていくのが良いのでは。</p>
企業の取組について	<p>○飲料メーカーなどペットボトル関連企業の動きについて教えてほしい。</p> <p>消費者が変われば企業も絶対動くと考えますが、企業では何か案はあるのか。</p>

2 審議会後に提出いただいたもの

項目	ご意見
びんの優位性について	<p>○ペットボトルの消費量が増えているのは一定の経済的合理性があるため。これだけデザインが多様化しているとびんのリユースは難しく、びんもリサイクルせざるを得ない。びんを使うことが本当にエコなのかを定量的に考えるべき。</p>
消費行動を変える取組について	<p>○「なぜ減量するのか」をわかりやすく広報することが必要。加えて、ペットボトルの使用を減らす具体的な方法を提示することが大事。マイカップ・マイボトルの使い方、個人や職場での意識改革など。</p> <p>○ペットボトルのリデュースに向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水スポットの情報提供 ・公共施設にはすべて給水器を設置 ・家庭ではできるだけ小型ペットを購入しない など <p>気をつければ出来ることを積極的に情報発信する。</p>
国レベルの取組について	<p>○我が国のペットボトルリサイクル率（現在 85%）を 90%以上とすべく官民挙げて啓発活動すべき。</p> <p>また、ペットボトルの削減に向けて炭素税を導入したり、マイボトルを促進するためコンビニ等で中身を補充できるようにすべき。生分解性プラスチックの開発を促進すべき。</p>